

郷土資料館と文化伝承館は、このまちに長く暮らしている方はもとより新たに暮らす方にとっても、登別の生い立ちや文化を知る上で、欠くことのできない社会教育施設です。

お城を模した館が最も美しいのは、満開の桜に映える5月。

今号では、郷土資料館と文化伝承館の館内展示や体験学習事業などをご紹介します。

特集

郷土資料館

・文化伝承館探訪

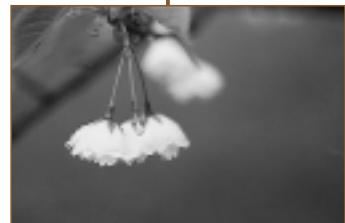
訪ねて懐かしい、 登別の歴史の宝庫

みなさんは、郷土資料館と文化伝承館を訪ねたことがありますか。

JR幌別駅から、道道弁景幌別線を幌別ダムに向かい、北西に約3*。しんた21を過ぎると、左手の緑豊かな川上公園に隣接して、ひときわ目を引く白いお城の形をした建物が見えてきます。

ここが、郷土資料館です。登別市に入植した旧仙台藩片倉家の居城・白石城をモデルに建築され、昭和56年9月にオープン。片倉家ゆかりの品々をはじめ、開拓当時の生活やまちの様子を伝える文献・生活用品、郷土が誇る偉大な言語学者知里真志保に関する資料など、郷土登別の歴史や民族、産業、文化などに関する資料を幅広く収集・保管するとともに、これらを市民のみなさんにご覧いただけるよう、テーマを設け、コーナーに分けて展示しています。

登別に暮らす私たちが、自分たちのまちの生い立ちを学ぶとき、郷土資料館は、欠くことができない大切な施設であり、古くから登別市に暮らしてい



るみなさんにとっても、訪ねて懐かしさを感じられる場です。

また、毎年5月を迎えると、淡い緑色の花びらをした高貴な桜といわれる「御衣黄」をはじめ、館内の庭園に植えられた「ヨウキヒ」「カンザン」「オオシマ」など、40本ほどの桜が咲き誇り、お城の形をした館とあいまって、訪れる方の目を楽しませてくれます。

日本の伝統文化を楽しく 子どもたちに伝える

この郷土資料館の横、まるで弟のように寄り添って立っているのが文化伝承館です。郷土の歴史、文化を学び、伝承活動の場として設けられ、平成8年4月にオープンしました。

ここでは、子どもからお年寄りの方までが楽しく体験学習ができる『郷土資料館体験学習』や、テーマを定めて郷土の歴史や文化などを学ぶ『資料館の日』などが行われています。

体験学習では、子どもからお年寄りの方までが、生涯各期を通して、楽しく学習できるさまざまなメニューを用意しています。

また、『凧づくり』や『こいのぼりづくり』、『ひな人形づくり』といった日本の伝統文化を子どもたちに伝えるように工夫されています。

それでは、郷土資料館内の展示コーナーと文化伝承館で行われている事業をご紹介します。